

公共事業環境配慮書(案)

建設部

道路建設課

事業名称		
事業名	道路改築事業	
整理番号	R5-8	
事業の種類	道路(国道、県道、農道、林道)の新設・改築 及び街路の整備	
市町村名	須坂市	
箇所名	村石町	
事業年度	令和2年度～令和10年度	
事業概要		
目的	国道406号は長野県大町市を起点として、長野地域、菅平高原を通り、群馬県高崎市に至る道路であり、須高地域と東信地域の観光・物流ネットワークの要の道路として利用されている。当該事業により新規バイパス路線を築造し、幅員狭小区間を解消し、将来交通需要を踏まえた幹線道路として整備する。	
計画概要(延長・幅員・面積・工種など)	道路築造工 延長L=1,360m 幅員W=6.5(全幅14.5)m	
関連する事業計画	しあわせ信州創造プラン、長野県広域道路交通計画	
その他特記事項	特になし	
関係法令等の規制		
自然環境保全地域等の指定状況	なし	
土地利用規制の状況	砂防法の砂防指定地	
その他	なし	
社会的要素 留意すべき地域の概況		
交通の現況	事業区域の北東側に現道の国道406号が位置する。 交通量は7,961台/日である バス路線である	
土地利用の現況	平野・田園である	
生活関連施設の現況	住居が点在している 周辺に須坂市立東中学校がある	
その他	特になし	
自然的環境要素 環境配慮の方針		
大気環境	留意すべき地域の概況	生活関連施設がある
	【大気汚染の防止】	
	・土砂表層や道路の散水、車両や機械の清掃等を行い、粉じんの飛散を防止する。	
	・排出ガス対策型の車両や機械を使用する。	
	【騒音、振動の防止】	
・低騒音・低振動型の建設機械を使用する。		
【悪臭の防止】		
・悪臭原因物質を使用しない又は使用量を削減する。		
・悪臭原因物質の使用、保管等の管理を徹底する。		
水環境	留意すべき地域の概況	周辺に畑地灌漑施設の配管がある
	【水質汚濁の防止】	
	・チェーンソーを使用する際は、生分解性チェーンオイルを使用する。	
	・工事仮設事務所からの生活雑排水を適正に処理する。	
	【水循環の保全】	
・水田や地下水・湧水を保全する。		
・畑地灌漑施設に影響がないように努める		
地形・地質	留意すべき地域の概況	特になし
	【環境の保全上重要な地形・地質の改変の回避】	
	・想定される影響はない。	
	【改変面積の最小化】	
	・工事施工ヤードの設置は、必要最小限の面積とする。	

野生動植物	留意すべき地域の概況	特になし
	【自然環境の保全上重要な地域の改変の回避】	
	・回避すべき重大な影響は想定できない。	
	【野生動植物の生息・生育空間の保全】	
	・回避すべき重大な影響は想定できない。	
	【動物の繁殖期における影響の低減】	
	・回避すべき重大な影響は想定できない。	
景観	留意すべき地域の概況	特になし
	【すぐれた景観の保全】	
	・工事箇所の整理整頓・美化に努め、仮施設や資材置き場は目立ちにくい配置にする。	
	【良好な景観の育成】	
	・想定される影響はない。	
	【動植物への負担の少ない形状・素材の使用】	
	・回避すべき重大な影響は想定できない。	
自然とのふれあい	留意すべき地域の概況	特になし
	【自然とのふれあいの場への立地の回避】	
	・想定される影響はない。	
	【自然とのふれあい空間の創出】	
・想定される影響はない。		
文化財等	留意すべき地域の概況	特になし
	【文化財等への配慮】	
	・想定される影響はない。	
廃棄物・建設残土	【建設廃棄物や建設残土の発生抑制】	
	・建設廃棄物や建設残土の適正処理を行う。	
	【建設廃棄物や建設残土のリサイクル】	
	・現場発生材の原位置リサイクル等、建設廃棄物や建設残土のリサイクルを推進する。	
	【資源の有効利用】	
・使用基準等に留意の上、再生As合材、再生骨材、木材チップ、建設汚泥改良土等再生資材の利用を推進する。		
省資源・省エネルギー・温室効果ガス	【環境への負荷の少ない機械の利用等】	
	・アイドリングストップ、エンジン回転数の抑制等機械の省エネ運転に努める。	
	・点検整備を行い適正な燃費消費率を維持する。	
	【エネルギーの有効利用】	
・想定される影響はない。		
日照阻害・電波障害・光害	【日照阻害への配慮】	
	・想定される影響はない。	
	【電波障害への配慮】	
	・想定される影響はない。	
【光害への配慮】		
・想定される影響はない。		

位置図



※地理院地図（国土地理院：<https://maps.gsi.go.jp>）を加工し作成